

# 元気な森林づくりを目指して

〜佐久地域でも積極的に間伐を進めています〜



間伐・搬出作業が終わったカラマツ林。カラマツが適度に伐採されのびのびと生長できます。



間伐材をプロセッサで、短く切断し積み重ねます。



引き出された木材はスキッドで土場まで運びます。



間伐材を運びだすときに、残した立木を傷つけないように丸太でガードします。

カーという音と共にワイヤーが動きだし、やがてカラマツの丸太が林内から運び出されてきました。

ここは、川上村の間伐作業の現場でタワーヤーダやプロセッサなどの高性能林業機械による間伐材の運び出しが行われています。

長野県では「信州の森林づくりアクションプラン」により平成二十七年までに佐久地域で約四万ヘクタールの森林の間伐する計画です。

水源地、観光地周辺や幹線道路沿いなどを中心とした森林の整備や、強い間伐で広葉樹の芽生え生長を促し、針葉樹と広葉樹が混じった林にしていくなど地域の森林を元気にしていくために、積極的に間伐を進めていきます。